

No51. 挑戦し続けることにCHALLENGE

《 Challenge to ^{ゼロ}0 パート3 結果報告 》

4月より地域活動委員会の新企画として天草のゴミを0にしたいという思いから『Challenge to 0』が始まりました。普段生活している中でゴミを意識することは少なく、そんなにゴミは落ちていないのではないかと、思いながら毎月ゴミ拾いに行きました。海水浴場では流れ着いたゴミ、漁港には釣りゴミ、弁当のゴミ、植木の中や草むらには吸い殻、空き缶、ペットボトルなどがたくさん捨ててあり、天草の景観が・・・と思うと心が痛みます。参加した利用者の皆さんはゴミの量に驚きながらもたくさん拾っていただきました。まだまだゴミゼロにはできていません。「ふるさと天草の自然が大好き！」私達の挑戦は続きます。

今年度は216.5Kgのゴミを集めました

チャレンジした回、日	私たちがキレイにしたい天草	ゴミ総重量
第1回目	4月20日	茂木根海水浴場と五和町二江通詞島公園
第2回目	5月	雨天中止
第3回目	6月15日	鬼池港と海鮮蔵前海岸
第4回目	7月20日	崎津天主堂近辺と白鶴ヶ浜海水浴場
第5回目	8月3日	栖本港と倉岳えびす公園
第6回目	9月28日	牛深アスレチック公園・砂月海水浴場
第7回目	10月19日	砂月海水浴場
第8回目	11月18日	砂月海水浴場
第9回目	12月14日	鬼池港・若宮海水浴場
第10回目	1月18日	茂木根海水浴場
第11回目	2月15日	二江通詞島・二江漁港周辺
第12回目	3月15日	錦島グラウンド・大多尾漁港周辺
計		216.5 Kg



6月（五和町：鬼池港）



7月（河浦町：崎津天主堂）



8月（倉岳町：えびす像）



（天草町：白鶴ヶ浜海水浴場）



9月（牛深町：砂月海水浴場）



2月（五和町：二江漁港）



（本渡町：茂木根海水浴場）



3月（新和町：大多尾漁港）

青いビフス は Challenge to ^{ゼロ}0 のユニホームです。

No52. 令和3年度重点目標

4/1

本日より令和3年度がスタートし、今年度重点目標が発表されました。

「 TAKER から GIVER へ ～与えられた仕事から提案する仕事へ～」

- ①会議での決定事項の遵守と情報の共有
 - ②全体支援とともに一人ひとりに時間をかける
 - ③失敗してもチャレンジし続ける
 - ④笑顔、言葉遣い、身だしなみに気をつける
 - ⑤リユースや工夫でコスト削減に努める
- です。

基本理念 「明るく 素直に 仲良く」

方針 「利用者、地域及び職員の幸福をともに追求する」

を基に立てられた目標となります。職員一人ひとりと施設全体の目標が一致できたとき、同じ方向を目指せたとき、利用者と家族、職員が理念、方針を感じられるチームワークのとれた施設になれると思います。まだまだコロナウイルスの終息に目途は立たない中ですが、利用者の皆さんが安心、安全に過ごしいただけるよう、我々職員は重点目標を胸にできることを確実に実施して行こうと思います。



No53. マニュアル通り

4/14 避難訓練



18:30「ファンファン」両施設に避難訓練の非常放送が鳴り響きました。

今回は苓山寮トイレからの出火という想定で各ホールへ避難指示が発令されました。自分で歩ける方、手を引いて歩ける方、車イス対応の方、全介助で移動される方だったり、ホールや居室等でそれぞれがくつろいでおられる余暇の時間帯での訓練です。夜間の数少ない職員で苓山寮60名、第二苓山寮30名の避難誘導は本当に慌ただしく、職員自身の役割が頭に入っていないと混乱するばかりです。そのため夜勤帯の引き継ぎ時は「事前項目確認」を実施、自分の防災担当や役割を一人ひとり発表し把握しています。それぞれの役割を遂行し、無事全員避難することができました。

年12回の避難訓練の内7回は両施設夜間対応での訓練を実施しています。実際火災や自然災害が起きたときはもっと慌ててしまうと思います。職員が少ないときは尚更だと思います。少しでも慌てず、利用者の皆さんの安全を第一に避難誘導できるようマニュアル通り実施して行こうと思います。



No54. 体力保持のために

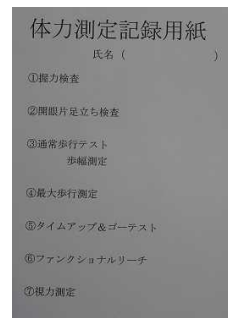
4/22 体力・視力測定

私達にとって利用者の皆様に体力を保持していただくことは大きな課題の一つです。

この毎年実施している体力・視力測定は個別支援を計画する上で重要なデータとなってきます。実際、データを比較しますと、高齢化に伴い個々の体力も、施設全体の体力も低下しています。外での歩行を積極的に取り入れた経緯もこのデータを活用してのことです。少しでも体力の低下が抑えられればと思っております。他にもラジオ体操の見直しや嚙下体操等1年を通し、体力増進するよう日課や行事等の見直しにも役立っています。

今年の測定は、一人ひとりに職員が付き添い、実施項目を一緒に行いました。握力や歩行速度（1人で歩行する人や車椅子、職員の付き添いで歩行する人）の計測、視力測定は動物の絵のパネルを見ていただき、名前を答えていただく方法で測定しています。利用者個々に合わせた計測の仕方を考え実施しました。

これから利用者の皆さんの加齢は必然の課題であり、体力保持あつての施設生活だと考えております。測定データを毎日、月、年の支援計画に取り入れ、利用者の皆さんの生活を支援できればと思っております。



No55. コンビニエンスストア がやってきた 4/26 管内買物



コロナウイルス感染対策にて外出規制を余儀なくされた利用者の皆さん、ご家族の皆様には大変ご迷惑をおかけしております。まだまだ、ワクチン注射やコロナ終息には見通しがつきそうにありませんが、気をしっかり持っていこうと思います。

施設では地域のコンビニエンスストアのご協力の下、感染症対策をしっかりとし、多目的ホールにあのコンビニがやってきました。先月からの試みで本日で2回目となります。県内でもコロナ感染者が増加し、担当の美化生活委員会でも中止を含めあらゆる選択肢を検討、1回目の盛況とこれからの感染者の増加の傾向を考え、実施に至ったようです。（次回実施できるのか？）

もちろん、実施するからには「利用者の皆さんの笑顔をみたい」ということで、準備は入念に行い、できるだけ会話をせず、少人数ずつの買物、お菓子を買ってもその場で食べず、中庭や外のベンチで食べていただくことにしました。

たくさんのジュースや菓子、パン類、雑誌、日用品に皆さん笑顔がこぼれ、買物をされていました。やはり皆さん買物は大好きで少しはストレスの解消になられたのではないのでしょうか。

今後も引き続きコロナ対策をしっかりと実施し、その中で、利用者の皆さんに充実した生活を送っていただきたいと思います。



No56. 玄関は施設の象徴



4月のことですが、苓山寮の玄関先に花の苗を植えました。
日々草というお花で、6月には苗が大きくなり見頃が来るそうです。
女性利用者3名と男性利用者1名の方が手伝ってくれました。

植え終えた後は、自分が植えた花を指さし教えて下さいました。
陶芸棟前にも植えましたので、咲きほこったときは、花の写真をUP
できたらと思います。





No57. 全員で決めたこと

GH自治会 5/15. 16

各GHでは月に1度、自分達のルールや要望、反省等の意見を出し合い、話し合い、より楽しく生活できるよう自治会を開催しています。自治会長、副会長、書記がおり、会が盛り上がり、まとまるよう進行していきます。

今回はGHつばさ、かなでの自治会議録を見せて下さいました。

議題：「小遣いについて」「掃除当番について」「飲酒とカップ麺について」「テレビについて」「誕生日会について」「消灯時間について」「タバコ喫煙について」「洗濯について」「ジュースについて」と9項目のたくさんの議題を話し合われたそうです。仕事に出勤される方（それぞれ職場は違います）、第二苓山寮の生活介護を利用される方等たくさんの意見が出るのは当然です。担当職員1人が見守る中、会長、副会長も「あれもしたい、これもしたい」「こうしたい」「こうだと困る」等の全部の要望を聞くわけにはいきません。集団生活のルールの中、より全員が楽しく生活ができるよう決めなければなりません。

一人ひとりが遠慮無く意見を出し、話し合える自治会を続けて欲しいです。全員で決めたルールの中で楽しいGHにしていきたいと思います。

それぞれの自治会の様子



【GHはばたき：食堂にて】



【GHつばさ・かなで：ホールにて】

No58. 65歳以上55名接種

合同新型コロナウイルスワクチン接種 5/26(水)



配置医の協力のもと、施設でもいよいよコロナワクチン接種が始まりました。待ち望んでいたものの初めての接種ということで準備等も看護師を中心に入念に行いました。特に温度管理には細心の注意を必要としました。

- 接種の流れ**
- | | |
|---------|-----------------------|
| ①会場設営 | - 多目的ホール |
| ②ワクチン希釈 | - ワクチン11本を55名分へ希釈 |
| ③受付・検温 | - 体温37.5℃以上の発熱有無の確認 |
| ④予診票の確認 | - 記入もれ等の確認 |
| ⑤予診 | - 接種可否の確認 |
| ⑥接種 | - 55名接種（苓山寮→第二→GH→職員） |
| ⑦健康観察 | - 接種後30分間の体調の変化を確認 |
| ⑧終了 | |

接種自体は2時間程で特段の副反応も無く無事55名終了いたしました。今回が1回目の接種ということで3週間後に2回目を接種いたします。全国各自治体でもやっと高齢者に向け、ワクチン接種が始まった気がします。少しでも新型コロナウイルスの終息を願うばかりです。



【看護師によるワクチンの希釈】



【ワクチン接種状況】

No59-1. 3回目だから気付くこと

新型コロナウイルス対策訓練 6/8(火)

3回目となる今回の訓練は陽性者が施設に残った場合を想定し実施しました。
朝礼時より訓練は始まり「利用者1名熱が続いている」と報告

- ①疑い者発生 - 熱を測り、体調不良を確認
- ②課長・医務に報告 - 携わった支援員がすぐに報告する
- ③危機管理委員会の招集 - 施設長・副施設長・事務長・課長・主任
- ④受診 - 1日の疑陽性者の担当を決め、受診
- ⑤陽性確定の連絡 - 保健所へ連絡・県、市へ連絡
- ⑥全職員招集 - 施設長は利用者対応等各係の責任者を決定する
保健所の指示に従う・各責任者は進捗状況を都度報告
持病のある自宅待機職員の退勤指示
- ⑦始動 - 各係に分かれ責任者の指示に従い始動する
- ⑧職員勤務割り・利用者部屋割り - 支援課長が割り振る
- ⑨利用者対応 - 今後の流れを説明・支援、見守り、マスク着用
高リスク者の移動・発症部屋の封鎖
- ⑩連絡 - 家族、職員、知施協へ連絡・職員宿泊先の確保
- ⑪資材管理 - 衛生用品・薬関係・利用者の着替え等
- ⑫設備管理 - 3班に分かれゾーン設置（保健所の指示による）

簡単に計画を記載しましたが、それぞれの係の責任は重大で万が一に発症したとしてもクラスターにならないようにしなければなりません。1回目より2回目、3回目はスムーズにできたと思います。また、保健所の指示等が場面場面によって施設のマニュアルとは違うかもしれません。発症したときこそ冷静な判断が求められると思います。

No59 -2 午後からは設置したゾーンへ出入りの際、入室から退室までの流れを確認していきました。これも1回目、2回目も実施しており、反省点が活かされた入退室ができました。看護師を中心に都度の対応訓練を反省し、3回目だから気付いた反省点が出れば次回に繋げられる訓練だったと思います。



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧



⑩



⑪



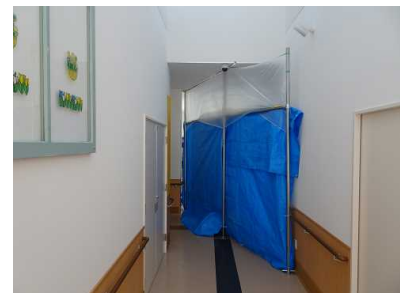
⑫



⑬



⑭



⑮

No 6 0 .



フラダンスサークル 22年を振り返って

フラダンスサークル6 / 11 (土)

機関紙あゆみNo97平成22年12月1日発行（現在：No160号）の記事にこう書かれてました。

ボランティアの窓

「今回で第85回目の活動を迎えたフラダンスサークル。当日も和気あいあいとした雰囲気の中にも、心の底からフラの素晴らしさを伝えようとして下さる講師の方々の眼差しや指先に、毎回このような貴重な体験や繋がりはサークルのメンバーの宝物と改めて肌で感じさせられました。現在は、新作ダンスへの猛特訓中です。メンバーも口々に「早よ覚えて、皆の前で踊るバイ！」が合い言葉です。

一丸となって、一つの目標に向かって一歩一歩邁進です。RKKフラダンスサークル講師の皆様これからもよろしくお願いいたします。

この記事から10年が過ぎ、今回のサークルで191回となりました。平成12年からはじまり、メンバーも多少入れ替わりがありましたが、立ち上げ当初からのメンバーの方もおられ、月に1回のサークルを待ち遠しくされています。現在はコロナ禍対応のため講師の先生方は参加されていませんが、先生に見ていただくことを目標に毎月頑張っておっています。早く先生と一緒に踊りたいそうです。

